キャラクター名
恋ヶ谷 英里守(こいがやえりす)

プレイヤー名

シンドローム	ブラックドッグ キュマイラ	ワークス	UGNチルドレンA	カヴァー	高校生
オプショナル		年齢	17	性別	♀
覚醒	感染	衝動	闘争	初期侵食率	35 %
出自	資産家	経験	平凡	邂逅	玉野椿

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	5	1	0			6
感覚	1	0	0			1
精神	1	0	0			1
社会	1	0	0			1

HP	33
行動値	-1
(非装備時)	-1
戦闘移動	4
全力移動	8

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	2		射撃			ＲＣ	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達		
運転：			芸術：			知識：			情報：UGN	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
トールハンマー(レイジングブレイド)	白兵	6r	8	17		1シーン1回ダメージ+2D

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
レジェンドウェポン	
ウェポンケース	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
秘密兵器	P	N		
中々菜 佳奈	P 憧憬	N 食傷		
愛乃歌奈	P 庇護	N 憐憫		
蔵世マロン	P 友情	N 隔意		
戸川さくら	P 友情	N 隔意		
ヘスティア	P 尽力	N 不信感		
風に消える	P 感服	N 不安		

最大財産P: 2	残り財産P：

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：	コスト分のHPで復活							
コンセントレイト	2	2	ﾒｼﾞｬｰ	-	-	-	-	
効果：	CL値-Lv							
ロケッティア	2	4	ｾｯﾄｱｯﾌﾟ	至近	自身	-	-	
効果：	1シナリオLv回好きな位置に移動							
フルパワーアタック	3	4	ｾｯﾄｱｯﾌﾟ	至近	自身	-	80↑	
効果：	攻撃力Lv*5。行動値0							
フルインストール	3	5	ｲﾆｼｱﾁﾌﾞ	至近	自身	-	100↑	
効果：	そのラウンド中判定ダイス+Lv*3							
復讐の刃	1	6	ｵｰﾄ	至近	単体	白兵	-	
効果：	リアクション破棄で白兵攻撃							
アームズリンク	3	2	ﾒｼﾞｬｰ	武器	-	白兵・射撃	-	
効果：	判定ダイス+Lv個							
レジェンドウェポン獲得分	2							
効果：								
ライトニングリンク	2	4	メジャー	武器	-	白兵・射撃	リミット	
効果：	攻撃力Lv*4							
雷神の降臨	1	6	ｾｯﾄｱｯﾌﾟ	至近	自身	-	100↑	
効果：	攻撃力Lv*5。行動値0							
	★							
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

「脳筋？上等！なぜならば、これこそが私の唯一無二にして最強の必勝法なのだから！」

恋々谷英里守は平凡な女の子だった。
優秀な事業家である父と才色兼備な母の間に生まれ幼少より英才教育を施されたものの、文武どちらとも図抜けた実績を残すことはできなかった。
しかし英里守の両親は平凡な娘に対して失望することなくむしろより愛情を注いだ。

「英里守にしかできないことを見つけなさい」

両親の愛情を受け真っ直ぐと育った英里守は13歳の頃偶然能力が覚醒。UGNに所属することとなる。
オーヴァードとしても飛び抜けた才能はなかった彼女であったが、当時UGN内で行われていた「人工遺物プロジェクト」の適合者テストに志願する。
※この実験は現代科学によって遺産を生み出すための研究であったが、開発された武器は適合者にしか扱えないという致命的な欠点があった。

このテストにおいて偶然人工遺物「トールハンマー」との高い適合率を見出された英里守は、血のにじむような努力の末にUGNエージェントとして頭角を表していくこととなる。

性格は明るく社交的。生まれつきのギザ歯で昔は同級生から怖がられていたためコンプレックスだったが、高校生となった現在では開き直ってよくギザ歯を見せつけるように笑うことが多い。
都内某市のお嬢様学校に通っている。努力家で明るく社交的な性格のため友人も多い。

UGNの仕事については両親は一般人のため知らないが、中学の頃から娘がなにか熱中できることを見つけたことは理解しており、娘が自ら話してくれるまでは静かに見守ろうというスタンスを貫いている。